

舞踏劇「アンデルセンの一生」

オーデンセフォークダンスグループのダンスショー

10月18日（木）、オーデンセフォークダンスグループのダンスショーが開かれた。勤労市民センター 大ホールは大勢の観客で盛況。



このショーはアンデルセンの生涯を、彼が立ち寄った各地のフォークダンスで表現している。



時には優雅に、力強く、楽しく、華やかに・・・3人の奏者の音楽に導かれ、民俗衣装を身につけたダンサーが舞台いっぱいに展開する場面に観客は手拍子で迎える。舞台と客席が一つになった。「舞台の上で、一緒にクルクル回ってみたい」と親子の感想。

閉幕後、ホールで向き合い、手を握りツーステップを踏んでいる2人の子。余韻を残したよい公演だった。



公演で得た記者の知識：アンデルセンの旅行カバンに長く、太いロープが入っている。その心は「ホテル火災の際、脱出に使うために」。

広報委員 坂井

カリフォルニア州立イーストベイ校への留学を終えて 1

~~~~ 本町 荻原優美 ~~~~

ハイワードはさまざまな国からの移民者が多く大変国際色豊かな町。この立地は移民史にかねてから興味があった私が勉強するのに最適な町でした。

授業では Ethnic Studies の中から Asian Studies を専攻しました。第二次世界大戦における日系収容の問題をクラスメイトとディスカッション、移民の経験のある人へインタビューを通して移民の歴史的背景とともに渡米時のビザの問題、渡米後の差別と偏見などの観点から調査をしてプレゼンテーションをしました。

クラスメイトや友人や先生に大変恵まれて、充実した日々をすごすことができました。



学部でお世話になった先生方との懇談会

また、ツルモト夫妻の移民の背景や経験などは大変貴重なお話でした。ツルモト夫妻には留学前後の受け入れのみならず、留学中のフォローをいただきました。

また、イースターの日にはホストファミリーのアニータさんからディナーにお招きいただきアメリカ文化にも触れることができました。

このような貴重な機会を与えてくださった現地姉妹都市委員の方々、船橋国際交流協会の方々に感謝しております。



日本語クラスの写真



## カリフォルニア州立イーストベイ校への留学を終えて 2

~~~~ 金杉 瀬沼雄太 ~~~~

アメリカは多民族国家であり、世界にはいろいろな人がいるのだと感じました。



サッカー部のメンバーと前列左から2人目が筆者

短い期間でしたがサッカー部に所属していたことで、考え方やバックグラウンドが違う様々な仲間たちと同じ目標に向かって協力して頑張るという貴重な経験ができました。

また、ルームメイトの一人がゲイだったことで、日本ではめったに考えられない問題とも直面しました。



ハロウィンで

ハロウィンやクリスマスは日本のものとは全然違っていているなど、日本にいたのでは知ることができなかった多くのことを経験することができました。

この留学を通して、多少の考え方の違いはあっても国籍や肌の色は関係ないのだということを実感しました。また、アメリカ文化のなかで生活したことで、今まで気づけなかった日本のいいところに気づくことができたのも大きな成果でした。

ただ、国際交流という点で外国人に対して日本のよさを伝えることがあまりできなかったのは残念で、今後この経験を生かしたいと思います。

~~~~ 西習志野 須藤 淳 ~~~~

カリフォルニアでの9カ月間で最も感じたことは、多様性の素晴らしさである。以前アメリカ中部に滞在していたこともあるが、同じアメリカでもカリフォルニアは最も多様性が高いように感じた。

アジア、ヨーロッパ、中南米、アフリカなど、様々な国、地域からの移民や留学生の存在は、アメリカの歴史そのものであり、経済、政治の影響力の源泉であろう。

ヨセミテ国立公園にて、台湾出身の親友マイクと



留学期間を通して、何十という国からの友人ができたのは、良い経験であった。彼らの多くはアメリカ人という枠の中にいるが、異なるバックグラウンドを持っており、文化や価値観が異なる。だからと言って排他的になるのではなく、他の文化に寛容な環境が自分は好きだった。

「異質」なもの、人を受け入れる文化の存在は、その国の対外的な魅力につながる。日本の社会と米国の多様性を比較して、歴史の変遷を考慮すると仕方ないと思う一方で、留学は将来の日本のあるべき姿を考える良い機会となったと思う

森林公園にて、ベトナム人留学生の友人ロビンと



### お知らせ 1

#### 短期留学で新たな発見をしませんか

協会では、船橋市の姉妹都市、ヘイワード市にあるカリフォルニア州立大学イーストベイ校への短期留学生派遣を行っています。

今回18回目を迎え、これまでに40人以上の市民が留学生勝を体験してきました。

[応募資格]①昭和63年4月1日以前に生まれ高等学校を卒業、日本国籍を有し、船橋市に継続1年以上居住(本人が市外在住の場合、両親が船橋市に居住)。

②TOEFL525点またはiBT71点以上取得。

[募集人員]3人

[受入学部]芸術、文学、社会科学、経済、教育、科学

[選考方法]1次：書類審査

2次：面接(英語と日本語)

[選考日]平成20年2月24日(日)

[申し込み]平成20年2月15日(金)必着

所定の申し込み用紙で協会事務局へ。申し込み用紙は協会事務局で配布、またはHPからダウンロード可。

~~ 留学体験は自身の成長と新しい自分にきっと出会えるはず!! ~~